

特集担当者のオススメ



マーティン社のD-28は憧れの存在。1968年、インドのリシケシュにあるマハリシ・マヘーシュ・ヨーギーの寺院に訪れたビートルズのメンバー。その時の様子を
残した写真に、修行用の白い衣を着たジョンとポールがD-28を抱え作曲している場面がある。これホントに萌えたわ〜。このときの作曲成果は同年発売の『THE BEATLES』に収められている。イギリス人の弾くアメリカのギターは、ちょっと曇り空のような響きがあって、青年期の自分の音楽志向に大きく影響を与えました。そんなD-28、P28で見てちょーだい！ギター買ってちょーダイ！

P14

【総力特集】品質、スタイル、イノベーション——底知れぬ引力のヒミツはどこに!?

迷宮★アメリカンプロダクツ

P16 没後60年アメリカのスピリット
ジョン・F・ケネディ

P18 大統領たちも愛したアメリカ靴

P20 健在! MADE IN USA

P22 レッドウィングはアメリカ作業靴の金字塔だ

P24 一部の製品ですっと存在するUSAメイド
なぜ彼らはMADE IN USAを作り続けるのか

P28 “アメリカ”が響く「ドレッドノート」

P30 Levi's®501® 150周年記念
アーカイブで見るキング・オブ・デニム

P34 ストライクゴールドで間違いナシ!

P35 アメリカ人がアメリカ人のために
アメリカの大地を走るためにつくったクルマ
JEEP WAGONEER

P38 エイアンドエフ赤津孝夫会長に聞いた
「アメリカモノにはユニーク性、独自性、
そしてパワフルさがある!」

P40 雑学で知るアメリカ
アウトドア編

P41 USA魂はディテールに宿る

P42 米国産皮革の至宝シェルコードバン
ホーウィンレザー100年の粋

P46 IVY好きインタビュー
「大量生産が良いんだよね。
だってずっと同じものが手に入るでしょ」

P48 アンディ・ウォーホルもハーマンミラーも
ミッドセンチュリー時代
「大量生産」が世の中を席卷!代

P49 雑学で知るアメリカ
ライフスタイル編

P50 自由で合理的なアメリカ家具
これぞ、リアルなアメリカだ!

P52 USA to JAPAN 日本で受け継ぐUSスピリッツ

P54 知っているようで知らない
スヌーピー

P55 雑学で知るアメリカ
ドリンク編

P56 ブランドは消費者のもの
パッケージデザイン

P58 雑学で知るアメリカ
家電、メガネ、文房具、時計編

P60 エヒローグ
やっぱりアメリカが好きなんだ

編集部より

◎商品は取扱説明書に従って正しい使い方をしてください。

掲載価格は税込みの価格です。

実勢価格は編集部調べの価格です。

◎次号のモノ・マガジンは2023年8月2日(水)発売です。

mono編集部モノ差し	006
う〜ん、うなるもの	010
ジン・デボ	012
monoの大捜査線	062
宮内裕賀の「日本イカ化計画」	068
柳町正蔵の「ミステリーキャスケット」	069
金属恵比寿 高木大地の「狂気の楽器塾」	073
みうらじゅんの「今月のグッとくる宝物ベスト2」	081
monoの大捜査線	082
モノ・ショップ新聞	104
みんなの時計	106
monoの大捜査線	108
レイジング大谷の「アイビーの名のもとに」	128
新製品情報	130
モノ進化論	134
クオラボ	136
インフォメーション	138
バックナンバー	139
次号予告	140
モノ・ショップジャーナル	141

mono

CONTENTS.2

2023 8-2 No.920

【特集】

見えない世界をもっと見る! 今宵、観測ギア とともに 110

遠い空の向こうに想いを馳せる天体観測はもちろん、バードウォッチングを楽しむ双眼鏡、ミクロの世界を愉しむ顕微鏡など、あらゆる観測ギアをラインナップ。さらには大人の自由研究やプラネタリウムにも注目。最新の光学機器から、何かと役立つ観測グッズまでが勢揃い。あらゆる角度から「観測ギア」のいまを観測してみる。



【連載企画】 074

文と構成 / 河村喜代子 写真 / AAFES、米議会図書館、米陸軍、WPPコレクション
Text & Edit / Kiyoko Kawamura Photo / US Army & Air Force Exchange Stores, Library of Congress, US Army, WPP Collection

兵士が行くところならPXも行く。第26回 ポスト エクスチェンジ物語

太平洋のど真ん中にハワイ諸島が並んでいる。アメリカ本土と極東日本との中間、そして南にオーストラリアと、まさに太平洋の交差点。そのハワイで、アメリカが最初のポストエクスチェンジを開いたのは1898年である。米西戦争でフィリピンに向かう兵士たちのためだった。



ナツク! 知っとく!!

【特集】 いいことづくめの 84

いまどき新しい 生活の新常識

新しい生活様式がすっかり浸透した昨今、働き方やライフスタイルも一変し、新サービスの提供や新商品の発売は後を絶たず。ここ数年で得られた新たな気づきや生活・行動の変化も今や常識になりつつある。そんな情勢を踏まえ、本特集では“新しい生活”に欠かせないモノ・コトを紹介。果たして、次に来るスタンダードとは?

— アメリカンヴィンテージ靴セレクション —



ALLEN EDMONDS

1922年創業。歴代大統領も愛用するアメリカを代表する名門ブランド。ハンドクラフトを基本とした豪華な作りながら、履き心地のよさを両立した靴作りを理念に掲げる。今だにアメリカ製にこだわる数少ないブランド。写真は内羽根のウイングチップMcAllister。穴飾りが実に細かく施された凝った作りが見事。



WEYENBERG

1906年創業。第1次世界大戦次には軍用靴を製造し、規模を拡大していく。第2次世界大戦後からドレスシューズ中心の生産に切り替え、中空構造のソールを採用したMASSAGICラインなど名品を生み出した。写真は1950~60年代のMASSAGIC。履き心地はもちろん、キャップトゥのステッチングも見事。



JOHNSONIAN

1850年代に創業し、1890年にEndicott Johnsonと名った老舗のシューメーカー。残念ながら現在は倒産してしまったのだが、かつては全米に販売網を広げ、靴業界において一大帝国を築いていた。写真は同社のドレスライン。綿密計測によるガイドステップ製法を採用したVチップ。艶黒に白ステッチが映える。



FREEMAN

1930年頃にウィスコンシン州で創業。屈曲性に優れたソールFree-Flexで特許を取得するなど、コンフォートシューズを中心に製造。靴好きの間では人気が高いが、古着市場でもそれほど数は見つけられない。写真はMASTER FITTERの内羽根キャップトゥ。シャツ並に細かいピッチのステッチが。



NETTLETON

1879年ニューヨークで創業。現在一般名称となっているローファーという言葉は、もともと同ブランドが名付け親である。現在工場は移動していないようだ。どちらかというと通ブランド。写真はパンチングが施された春夏向けのVチップ。シャープなルックス&軽い履き心地が◎。



JOHNSTON & MURPHY

イギリスの靴職人がアメリカで1850年に創業。創業のきっかけは第13代大統領からの製作依頼だという。その後ケネディやブッシュなど、歴代大統領に愛用されてきた。ハイグレードラインのARISTOCRAFTが人気。写真はARISTOCRAFTのタッセルローファー。外観以外にも内張りレザーなど隅々まで豪華。



E. T. WRIGHT

1876年にボストンで創業。頑強なスチールシャンクとアーチ部分を膨らませた製法Arch Preserverが有名。矯正靴の製造がはじめられたため、履き心地はお墨付きだ。同時にルックスも美しく靴好きの評価は高い。写真は1970~80年代製のタッセルローファー。特許を取得したArch Preserverを搭載。



FLOSHEIM

1892年に創業。50年代には全米各地に多くの工場と店舗を展開するも、経営不振や買収を経て1990年代にはインド生産へと切り替えた。古着市場ではポピュラーな存在であり、とくにインベリアルクオリティは人気が高い。写真はコンビネーションカラーのスペクターシューズ。スポーツ観戦などで愛用された。



HANOVER

1899年にペンシルバニアで創業。70年代には製造権利を手放している模様。ちなみに70年代後半から90年代頃まではBOSTONIANの靴をHANOVERの工場で作っていた。写真は張り出したコバが米靴らしいローファー。コバに飾りゴテが施されるなど作りは緻密。

BOSTONIAN

1899年にボストンで創業。歴代大統領にも愛用された名門ブランドだが、1990年代真に海外生産へをシフトし、現在では大衆向けを多く生産する。アメリカ製時代の靴は古着市場では人気が高く、業界界の評価も高い。写真はキャップトゥ部分はステッチではなく、レザーを折り返すことでラインを描いている。



※靴はすべてWPPアーカイブの所蔵写真です。

大統領たちも愛したアメリカ靴

現在のジョー・バイデン氏で46代を数えるアメリカ大統領。その足元にはアメリカでつくられた革靴たちもいた。ここではこれまで大統領の足元を飾ったブランドのほか、同時代のアメリカ製シューズたちをピックアップしてみた。

写真/WPPアーカイブ イラストレーション/一戸 淳文/モノ・マガジン編集部



SHIRT

もともと数が少ないといわれていたアメリカ生産の生地メーカー。そのひとつダンリバー社が2006年に倒産するなど、アメリカ靴と同様に繊維産業も近年厳しさを見せている。

TIE

アメリカ大統領は、就任演説や所信表明などの時に赤いネクタイを主に選ぶ習慣がある。赤は力強さをアピールできる色といわれており、視覚的な効果を狙っているのだ。



SUIT

2ボタンスーツは通常下のボタンを外して着るが、ケネディは下も留めて着ていた。ちなみにケネディの服装は、妻のジャクリーンがプロデュースしていたという話もある。

米国靴の古き良き時代はもう一度訪れるのか？

近年、紳士靴といえはイギリスやイタリアにスポーツが当てられることが多いが、アメリカンブランドも実はかなり多く存在する。が、残念ながら「かなり多く」とは消滅しまったブランドも含めてのことだ。アメリカの靴ブランドは1800年代末より創業した老舗も多く、その歴史自体は長いのだが、1970年代辺りから紳士靴市場が徐々に減退し、よい靴を作っていたブランドがいくつも消滅してしまったのだ。当然今では新品として

SHOES

大統領に限らず、企業の社長など、人前に立つことが多い人達から最も愛用率が高いのはキャップトゥ(ストレートチップ)だろう。もっとも汎用性が高い1足として重宝する。

ては手に入らないが、古着市場なら見つけることは可能だ。とはいえず、近年では良質なアメリカ靴を発売するのは困難になってきているといわれる。中でもクオリティの評価が高い1960年代以前は絶滅寸前。アメリカ靴はこのまま消えてしまふのか……。いやいや、今で

も頑なにアメリカ製にこだわりの持つブランドは数少ないが存在する。アレクシス・モズやジョンストン・アンド・マーフィーの顧客リストには歴代大統領がズラリと名を連ねる。ケネディももちろんそのひとりだ。紳士靴からは離れるが、ブッシュ元大統領はラッセルモカシンの大ファン。展示会に自ら足を運び、その場で計測&オーダーする姿をパラッチされている。クラフトマンシップを継承するためには、イギリスのロイヤルワラント制度のように、国のサポートが重要だということなのだろうか。

多くのブランドが海外生産へシフトし、純血のアメリカ製シューズが近年少なくなっている。この写真に写っているのは第32代大統領フランクリン・ルーズベルト(右)。ダブルブレストのスーツに、足元はおそらくキャップトゥ。まさにアメリカントラディショナルな着こなしだ。Photo/Library of Congress



アメリカ靴はココがポイント

アメリカ靴を語る際のキーワードは「コンフォート」。快適を意味する通り、ドレスシューズにも履き心地のよさを求め機能的な作りが多く見て取れる。軍用靴や矯正靴を創業のきっかけとするブランドが多いと聞くと納得だろう。しかし、アメリカ靴の場合、甲が低くワイズが狭いモノが多く、甲高&幅広が多い日本人には窮屈に感じることがあるので、購入の際は必ず試着を。

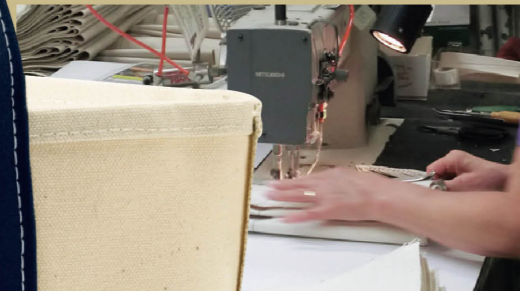




L.L.Bean

エル・エル・ビーン

ハンティングブーツとして1912年に登場したビーンブーツ。1944年、氷の塊を運ぶために作られたキャンバス製のアイスキャリアを元に考案された、頑丈なポート・アンド・トート・バッグ。「時代を超えて愛されるこれらのアイコン的アイテムは、メイン州に構える2ヶ所の自社工場にて職人たちにより手作業で作られています。アウトドアから日常生活まで使える質実剛健な製品を、昔と変わらない品質で提供し続けるのが彼らの誇りです」(L.L.Bean PR 中村寛規さん)



各縫製工程ごとに職人が在籍。何人もの手を渡って製品が完成する。

「ポート・アンド・トート・バッグ、オープン・トップ (Medium)」

価格9790円

©L.L.Beanカスタマーサービスセンター ☎0422-79-9131

迷宮
アメリカン
プロダクツ

近づけるかもしれないと考えた。リサーチを始めてみると、世の中にはたくさんアメリカンブランドが存在するものの、アメリカ生産を行っているところは限られるという事実が改めて気付かされた。かつて世界最大の工業国であったアメリカのモノづくりは「作る」と「創る」の両輪で成り立ってきたが、現在では商品企画などの「創る」部分をアメリカで行い、実際にモノを製造する「作る」部分を海外で行うというのが一般化している。海外の工場生産をしながら、しっかり品質コントロールする

「エル・エル・ビーン・ブーツ、6インチ」

価格2万4200円

©L.L.Beanカスタマーサービスセンター ☎0422-79-9131



高品質レザーと防水ラバーを使用し、一足一足丹念につくれる。



本社隣接工場の風景。堅牢度などに独自基準を設けており、独自で機械を作って検査をすることも。



その高い品質に心惹かれている自分があると思ったら、作りは二の次三の次といったラフさにグッとくる自分もいる。トラディショナルな佇まいも好きだけど、ハイテクなものも嫌いじゃない……。なぜ私たちがアメリカモノに魅了されるのか？ という問いに対し、ただひとつの答えを出すのは難しい。そこで、一部の製品をアメリカ国内で作っているブランドのこだわりに迫ることで、その真理に

一部の製品ですっと存在するUSAメイド

なぜ彼らは MADE IN USAを 作り続けるのか

今でも一部の製品で国内製造にこだわるアメリカンブランドに焦点を当て、彼らのモノづくりの姿勢を探求。その背景から、私たちが米国製に強く惹かれる理由を再考していく。

文 / 鈴木純平

MYSTERY RANCH

ミステリーランチ

「ビルド・フォー・ザ・ミッション」を理念に掲げ、アウトドアから火事の現場、果ては戦場まで、過酷な環境でも優れた性能を発揮するバックパックを提供。アメリカの法務執行機関でも採用されているブランドだけあり、ハイエンドモデルは現在でもアメリカ製造を貫いている。「本社隣接の自社工場があるのも特長で、新作のサンプル製造をワンストップで行えるため、細かいフィードバックを素早く製品に反映できます」(ミステリーランチ 東京店長寺尾 彰さん)



特殊部隊などに採用実績のある「3ディアサルト」を受け継ぐブランドの代表モデル。内装も充実。



「3ディアサルト CL」

価格7万7000円

©エイアンドエフ ☎03-3209-7575



Herman Miller

ハーマンミラー

デザイン性に優れ、量産できることを目的として製作された、背座一体型のプラスチックチェア「イームズ シェルチェア」を筆頭に、チャールズ&レイ・イームズが設計したハーマンミラー社の家具は、アメリカのミッドセンチュリーを象徴する存在。中でも「イームズ ラウンジチェア&オットマン」は特別な作品で、シンプルでリーズナブルな家具を手がけていたイームズが、究極の座り心地を追求して作った意欲作。最高級のパーソナルチェアとして、一生涯使える確かな品質で製造されている。

「イームズ ラウンジチェア&オットマン」

価格98万2300円～

©ハーマンミラーストア丸の内 ☎03-3201-1820

空飛ぶクルマが描く、新しい生活の未来予想図

生きてるうちに
実現しそうな
空飛ぶクルマの
実用化!

好 奇心が旺盛なモノマガリな
ら憧れたであろう空飛ぶク
ルマ。いまどき生活(新しい生
活)において空飛ぶクルマが身近
なかと問われれば「ノー」と言
わざるを得ない。しかし、空飛ぶ
クルマを今回の特集で取り上げる
のは時期尚早なのかといえば、そ
の答えもまた「ノー」。なぜなら
空飛ぶクルマの実用化はもうすぐ
そこまで来ているからだ。

その大きな一歩を踏み出したの
が今年3月に大阪城公園内野球場
で行われた、国の許可が必要な屋
外スペースでは日本初となる空飛
ぶクルマの有人実証飛行。これは
大阪府・大阪市・大阪商工会議所
で構成する「実証事業推進チーム
大阪」が支援し、丸紅が実施した
もの。都市部の交通渋滞、環境面
の規制、過疎地の交通弱者などあ
らゆる課題の解決策として空飛ぶ
クルマは注目を集めているが、今
回の実証飛行ではヘリコプターと
飛行機の操縦免許を有し、日本で
もっとも空に精通する経営者、で
あるGMOインターネットグルー
プの熊谷正寿代表がパイロットを
務めたことも注目を集めた。実は
同グループでは空飛ぶクルマの普

及に向けて、情報セキュリティ技
術とサイバーセキュリティ技術に
よる空のセキュリティ確立に向け
た取り組みを行っているのだ。

空飛ぶクルマはとかくハードウ
エアばかりが取り沙汰されるが、
ソフトウェアも特筆点。なぜなら
その通信などをハッキングされる
ことはテロ行為に匹敵し、最大の
リスクとなる墜落事故をはじめ、
通信が乗っ取られて重要な施設に
攻撃を加える、荷物が盗まれる、人
が往来する場所に荷物を落とされ
るなどの危険にさらされるからだ。
新しい乗りものが受け入れられる
ために一番重要なことは、やはり
安心・安全。これを実現するため
GMOインターネットグループで
は空飛ぶクルマの脆弱性診断や通
信の暗号化などを駆使し、空の安
心・安全を確保する取り組みを行
っているというわけだ。

ちなみにこちらの空飛ぶクルマ、
今後は来年3月までに機体の安全
基準や運航ルールなどを定め、再
来年の大阪万博で会場と大阪市中
心部などを結ぶ乗りものとしての
実用化を目指している。空飛ぶク
ルマが大阪の上空を颯爽と走って
いる姿、見てみたいと思わない?



実証飛行で採用された「空飛ぶクルマ」は、米
国・LIFT AIRCRAFT社製のひとり乗り電動
垂直離着陸機 (eVTOL) 「HEXA」。機体サイ
ズは全長4.5m×全高2.4m、総重量は約196kg。
積載量は約113kg、18個のプロペラを装備し
て最高時速100kmで約15分間の走行が可能だ。



6月26～28日に開催さ
れたJapan Drone2023
に出展したGMOインテ
ルネットグループ。その
ブースでは実証飛行で使
用したHEXAの実物を展
示するとともに、グルー
プの強みである暗号セキ
ュリティとサイバーセキ
ュリティの観点から「空
の安全」をアピールした。

GMOインターネットグループの代表が自らパイロットを担当

GMOインターネットグループの熊谷正寿代
表(下)が操縦士として実証飛行に参加。「非
常に簡単に飛ばすことができました。2025年
の大阪万博で実用化され、その後も多くの方
々の移動手段として、また時間節約の手段として
活用されることを願っています」と語った。



知っ得!!
ナットク!

特集 イイことづくめの いまどき生活の新常識

新しい生活様式が浸透した昨今は働き方もライフスタイルも一変し、
それに則した新サービスや新商品も続々と登場してきている。
そう、ここ数年で得られた新たな気づきや生活・行動の変化は、
いまや常識になりつつあるのだ! そんな情勢をふまえて、
本特集では次に来るニュースタンドなモノコトを紹介。
まずは、もはや夢ではなくなりつつある「空飛ぶクルマ」の話から始めよう。
写真提供 / GMOインターネットグループ <https://www.gmo.jp/>
文 / モノマガジン編集部

観て、撮って、愉しむ天体観測推しの逸品!

誰もが一度は憧れる天体望遠鏡のある生活。「どう使えばいいかわからない」「難しそう」といったイメージは今や、捨てていいだろう。直観的に扱えるよう進化しただけでなく、スマホと連動することで、星探しや撮影が驚くほど手軽に楽しめるのだ。

文/小林良介



スマホを天体望遠鏡に装着すると、専用アプリが自動的にスマホのカメラで星空を撮影し、観測したい天体を探せる機能が最大の特長。惑星はもちろん、初心者には難易度の高い天体や星雲・星団まで、ゲーム感覚で観測できる。



口径80mmの入門鏡筒&大型アルミ製伸縮式三脚と、地球の自転に合わせて天体を追うことのできる赤道儀のセット。スマホでコントロールできるワイヤレスユニットが付属し、手軽に天体ナビゲーションが楽しめる。

夜空も地上も、気軽に観察&スマホで撮影可能

ケンコー スカイウォーカー SW-50A

オープン価格(実勢1万1000円前後)

☎ケンコー・トキナー お客様相談室
☎03-6840-3389

天体観測用の「天頂ミラー」と、地上観察用の「正立プリズム」が付属しており、星空だけでなく地上風景や野鳥観察も可能。倍率が18倍・28.8倍・90倍のアイピースが3本付属。スマホを取りつけて写真や動画撮影も気軽に楽しめる。

地球の自転に合わせて狙った星を自動追尾

ビクセン 天体望遠鏡 SX2WL-A80Mf

価格30万2500円

☎ビクセン カスタマーサポート
☎04-2969-0222

「どれが土星？」の悩みをスマホが一発解消!

セレストロン 天体望遠鏡 StarSense Explorer LT 70AZ

オープン価格(実勢3万3000円前後)

☎ビクセン カスタマーサポート
☎04-2969-0222

こ ち ら も オ ス メ



DWARF II スマート望遠鏡カメラ
価格7万4000円

☎きびだんご
<https://kibidango.com/2315>

三脚にセットしスマホで操作するポータブルスマート望遠鏡カメラ。広角と望遠の2つのカメラを搭載し、4K動画の撮影が可能。AIを搭載した物体認識・追跡機能により、野鳥や飛行機、狙った星を自動的に追尾する。

超広角視界を特長とする天体双眼鏡。高度な光学性能を有した接眼レンズを搭載し、中心像の鮮明さを視界の最周辺まで表現。まるで星空の中で遊泳しているかのような感覚が味わえる。防水構造で、堅牢性と重心バランスにも配慮したデザイン。

ニコンビジョン WX 7X50 IF

オープン価格(実勢69万6000円前後)

☎ニコン カスタマーサポートセンター
☎0570-02-8000

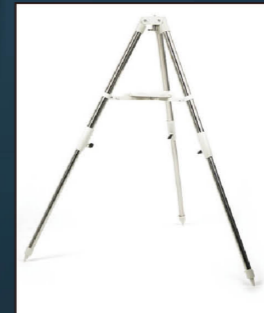


直感的な操作が可能な90mmスタンダードモデル

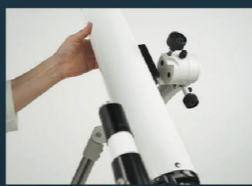
ケンコー スカイexplorer SE-AZ5mini+SE90Aセット

価格6万1600円

☎ケンコー・トキナー お客様相談室
☎03-6840-3389



鏡筒と架台の接合部分は、世界規格で互換性の高いアリ溝形式を採用しているため、ネジ1本で鏡筒の取り付け&取り外しも簡単。45mm幅のアリ型仕様の鏡筒であれば、他社製も取り付け可能だ。ネジの締め付けはしっかりと!



伸縮式のステンレス製三脚なので、使う人の身長や姿勢に合わせて見やすい高さに調整が可能。三脚本体の高さは680~1100mm。質量は2.3kg。2.07kg(フード含む)の鏡筒と、1.22kgの架台と合わせ、総重量は5.59kgとなる。



鏡筒は大型の口径90mm、焦点距離900mm。光がレンズを通過する際、6倍ファインダー。天体の観測に色によって屈折率が異なるため、星像が乱れる「色収差」を抑えるために、アロマートレンズを採用。幅広く使えるスタンダードな望遠鏡で、月や惑星の観測に適している。



本体と平行に取り付けられている900mm。光がレンズを通過する際、6倍ファインダー。天体の観測に色によって屈折率が異なるため、星像が乱れる「色収差」を抑えるために、アロマートレンズを採用。幅広く使えるスタンダードな望遠鏡で、月や惑星の観測に適している。



架台は、鏡筒を手で動かして離れたところでピタリと止まるフリーストップ式経緯台を採用。天体望遠鏡を初めて使う人でも扱いやすく、見たい星がすぐに見られる。地味なようで、これが実に便利な機能なのだ。



微動ハンドルがついており、これをクルクルと回すことで、より細かい位置の設定が可能。別売のフレキシブルハンドルを取り付けることにより、望遠鏡をのぞき込みながら楽な姿勢で操作できるようになるので、ぜひ導入したい。



脚が伸び縮みする伸縮式のステンレス製三脚と架台は、ハンドルネジ1本で取り付け可能。本来は大変な組み立て作業だが、こちらは工具いらずで簡単にできるので、初めての人も安心だ。早く見たい気持ちに応える仕様と言える。



満天の星空に無限のロマンを感じるのには、古今東西変わることもない人類の性。その星をもっと近くで見たいという願いを叶えてくれるのが、天体望遠鏡だ。近年はスマホと連動したタイプも多く、自動で星を探したり、写真や動画を気軽に撮影できたりと、天体観測のハードルはぐっと下がった。決して安い買い物ではないが、一生モノの趣味として付き合える道具であり、1年を通して楽しめる点も、天体観測のいいところだ。小中学生の自由研究としてだけでなく、大人がじっくり楽しみたい、知的で楽しい遊びである。キャンプなどの際にも、ひとつイベントが加わることで、外遊び全体がぐっと楽しくなるはずだ。

天体望遠鏡には大きく「屈折式」と「反射式」があるが、今回は初心者向きである屈折式を一堂に集めた。また、天体望遠鏡の本体である「鏡筒」を支える台を「架台」と呼ぶ。架台には「経緯台」と「赤道儀」の2種類があり、地球の自転に合わせて天体を追うことのできる赤道儀よりも、構造がシンプルな経緯台の方が扱いやすい。そして天体望遠鏡は星に向ける側のレンズが大きいほど光をたくさん集めることができ、明るい視野を得ることが可能。星雲や星団などの暗い天体を観測する際は、なるべく口径の大きい望遠鏡が必要となる。また、倍率は覗く側の「接眼レンズ」を付け替えることで変えることができる。

天体望遠鏡には大きく「屈折式」と「反射式」があるが、今回は初心者向きである屈折式を一堂に集めた。また、天体望遠鏡の本体である「鏡筒」を支える台を「架台」と呼ぶ。架台には「経緯台」と「赤道儀」の2種類があり、地球の自転に合わせて天体を追うことのできる赤道儀よりも、構造がシンプルな経緯台の方が扱いやすい。そして天体望遠鏡は星に向ける側のレンズが大きいほど光をたくさん集めることができ、明るい視野を得ることが可能。星雲や星団などの暗い天体を観測する際は、なるべく口径の大きい望遠鏡が必要となる。また、倍率は覗く側の「接眼レンズ」を付け替えることで変えることができる。

Publisher
今井今朝春
Keshaharu Imai

Editor-in-Chief
前田賢紀
Takanori Maeda

Deputy-Editor
関谷和久
Kazuhisa Sekiya

松崎薫子
Kaoruko Matsuzaki

Editor
小野正章
Masaaki Ono

大谷 暁
Satoru Otani

片岡静香
Shizuka Kataoka

加藤文晶
Fumiaki Kato

友井健人
Taketo Tomoi

竹本 泉
Izumi Takemoto

藪崎 大
Dai Yabuzaki

Directing Editor
土居輝彦
Teruhiko Doi

Art Director
若山トシオ
Toshio Wakayama

Designer
フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics

伊藤たまお
Tamao Itou

Staff Photographer
鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda

青木健格
Takenori Aoki

Advertising Director
坪井一雄
Kazuo Tsuboi

鈴木敏弥
Toshiya Suzuki

上田秀一
Shuichi Kanda

Production Director
小川俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager
笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP
Base, Nagi

ワールドフォトプレス総合サイト

モノマガジンweb に遊びに来てね!
https://www.monomagazine.com/



SNSでも新鮮情報発信中! フォローしてね!

https://www.facebook.com/monomagazine1982/

https://twitter.com/monomagazineweb/

スマホでもモノマガジンが読める

「dマガジン」「楽天マガジン」「ビューン」をチェック!

NEXT

次号予告

特集

今こそ、防災対策!

関東大震災から100年目の今年。もしもの時に備えて日常から効率良く防災グッズを揃えたい。そこで、有事に活躍する防災グッズや非常食を始め、機能性が高く耐久性にも優れたアウトドアギアやミリタリーアイテム、さらには、イザという時に役立つ正しい知識や情報をまとめてご紹介! 日々の暮らしから防災を実践しよう!

■うーん、うなるモノ ■モノ進化論 ■mono編集部モノ差し ■monoの大捜査線

総力特集

真夏の特撮ヒーロー大特集!

夏は特撮がアツイ! そこで、ヒーロー大集合! 広大無辺で驚天動地な特撮グッズ市場から注目アイテムを大特集。レジェンドのインタビュー、マニアックなお宝記事を満載。最新作「ウルトラマンブレーザー」も大特集。モノマガジンの特撮愛とヒーロー愛が大爆発! 夏休みのお楽しみと平和は、この一冊が引き受けた!!

イザ! という時に大活躍するモノと知恵

特別企画

熱いぜ! 甲冑の世界

大谷翔平の兜パフォーマンスで大注目!
「オオタニサン!」の兜パフォーマンスの影響もあり、今や兜をはじめ甲冑の人気が急上昇! そこで武将が身につけた甲冑をはじめ、時代によって変わる甲冑のデザイン、さらに伝統の甲冑づくりの技に至るまで紹介。武士にとつての甲冑、戦国時代の武士のいであちなど、歴史的な観点からも深掘りする。今買える甲冑の数々も紹介!

モノマガジン8-16,9-2合併号 NO.921
8月2日(水)発売 特別定価 750円(税込)

●モノ雑誌のバイオニア 毎月2回(2日・16日)発売

mono

発行人 ●今井今朝春
編集人 ●前田賢紀
発行所 ●株式会社ワールドフォトプレス
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-12-1
アズ阿佐ヶ谷
TEL:03(6383)2331 [編集部]
03(5929)7682 [メディアビジネス部]
03(6383)2390 [販売部]
FAX:03(6383)2583 [編集部]
03(6304)9443 [メディアビジネス部]
03(6383)2574 [販売部]
印刷所 ●大日本印刷株式会社

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えいたします。
●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。
実勢価格は編集部調べの価格です。